資料３

第3次東近江市環境基本計画の体系図（案）

基本的事項

背景

(1)市の概要
(2)計画策定の必要性
(3)環境政策の主な動き
ア　持続可能な開発と気候変動対策の強化
イ　生物多様性の保全と自然資本の管理
ウ　資源循環と廃棄物管理
エ　持続可能な農林水産業と水資源の保全
(4)第2次計画における重点プロジェクトの進捗状況
ア　代表的な取組の広がり
イ　取組やキーパーソンのつながり
ウ　環境・経済・社会の到達状況

基本的事項

(1)計画の位置付け
(2)計画の策定のポイント
ア　脱炭素社会、循環経済、自然再興の同時達成
イ　自然資本を基軸とした環境・経済・社会の統合的向上の実現
ウ　森里川湖を基盤とした地域資源の活用による事業創出と暮らしの質の向上
エ　次世代への継承
(3)計画推進の主体
(4)計画の対象区域と期間
(5)計画の構成

現状と課題

環境

(1)温暖化（CO_2ネットゼロ社会の実現）
(2)気候（気候変動への対応）
(3)自然環境（森里川湖の自然資本の維持・保全）
(4)動植物（ネイチャーポジティブの実践）
(5)廃棄物（サーキュラーエコノミーへの移行）
(6)生活環境（環境基準の確認と異常時の迅速な対応）

経済

(1)地域産業（地域資源を活用した持続可能な事業の創出）
(2)経済循環（市外での消費、エネルギー代金による資金流出の抑制）
(3)農林水産業（持続可能な農林水産業の振興）

社会

(1)人口・世帯数（人口減少、超高齢化、少人数世帯化の対策）
(2)歴史・文化（歴史・文化資本の継承と活用）
(3)コミュニティ（地域活動の維持、人と人のつながりの創出）

課題の複合性

環境・経済・社会の統合的向上

住民・事業者意向

目指す将来像

基本方針

1 地域資源をいかし、豊かさを共に育む

～森里川湖をはじめとする地域資源を最大限に活用し、地域の魅力を高め、市民と共に豊かな未来を築きます～

2 地域資源の再評価と保全・再生で未来を守る

～自然資本等の地域資源を再評価し、保全と再生を通じて、地域の価値を高め、次世代に確実に引き継ぐ地域づくりを進めます～

3 地域資源をつなぎ、循環共生の仕組みを共に築く

～地域資源を有機的に結びつけ、共に循環共生型社会を実現する仕組みを整え、持続可能な地域づくりを推進します～

基本施策

ア　自然の恵みを活かしたエネルギーを生み出すまち
- 再生可能エネルギーの推進
- 菜の花プロジェクトの推進

イ　森里川湖を育む持続可能な農林水産業のまち
- 森里川湖を守る農林水産業の振興
- 地元産食材や木材の利用拡大
- 環境に優しい商品や事業づくり

ウ　森里川湖のつながりを創るまち
- 100年の森づくりビジョンの推進
- エコツーリズムの推進
- 流域をつなぐ

エ　生物多様性を活かすまち
- グリーンインフラの整備
- 自然と共生するまちづくり
- 生物多様性を重視する企業との連携

ア　地球にやさしく、気候変動に備えるまち
- 省エネルギーの推進
- 温室効果ガスの吸収源対策の推進
- 気候変動への適応

イ　森里川湖を保全・再生するまち
- 100年の森づくりビジョンの推進
- 環境に配慮した土地利用の推進
- 森里川湖の保全・再生の推進
- 歴史・文化資本の保全

ウ　生物多様性を保全・再生するまち
- 生物多様性の調査と希少種の保護
- 生物多様性の保全・再生活動の推進
- 特定外来生物の対策の推進

エ　健康で安心して暮らせる美しいまち
- 健康で快適な生活環境の確保
- 美しい景観の形成
- 快適で安全なまちづくりの推進

オ　廃棄物を減らし、資源を大切にするまち
- ごみの減量化の推進
- 再資源化の推進
- 廃棄物の適正処理の推進

ア　循環共生型社会づくりを促進する仕組みを持つまち
- 資金調達と伴走支援の拡大
- 企業との連携と資金提供の仕組みづくり

イ　市民、企業、行政が協働するまち
- 協働のきっかけづくり

ウ　次世代を担う市民を育てるまち
- 持続可能な社会を担う人材の育成
- 市民の自然体験の推進
- 環境教育の推進

重点プロジェクト

(1)地域資源を活かし、豊かさを共に育む

市民協働でエネルギーの地産地消の拡大
- 市民共同発電の拡大
- 公有財産の有効活用促進
- 資金調達の強化
- 地元企業連携

持続可能な農林水産業の振興
- 農業後継者育成プログラム
- 環境に配慮した農業の普及
- 林業再生プロジェクト

森里川湖をつなぎ再評価、保全、活用するエコツアーの取組拡大
- 統合的エコツアー開発
- 地域ブランド化
- 新ターゲットの開拓

グリーンインフラの再評価・保全、活用
- 地域特有のグリーンインフラマップ作成
- 防災教育との連携
- グリーンインフラの観光資源化

(2)地域資源の再評価と保全・再生で未来を守る

100年の森づくりビジョンの実践
- 森林再生プロジェクト
- エコツーリズム推進
- 竹林管理プログラム

2050年CO_2ネットゼロとネイチャーポジティブの同時達成の実践
- 産業部門の省エネ技術導入
- 市民参加型の再エネプロジェクト拡大
- 森林保全とCO_2吸収力強化

生物多様性の価値評価と見える化
- 生物多様性指標の設定
- エコツアーとの連携
- 経済価値の見える化

サーキュラーエコノミーの推進
- リサイクル教育の強化
- プラスチックごみ削減
- 食品ロス削減プログラム

(3)地域資源をつなぎ、循環共生の仕組みを共に築く

ネイチャーポジティブを推進するためのローカルゼブラの育成
- ローカルゼブラ企業支援プログラム
- インパクト評価の実施
- グリーンファンドの設立

次世代につなぐ人材育成
- 教育プログラムの拡充
- 教育機関との連携強化
- キャリアパス形成